

## (9) 開所時間

### (i) 開所時間の長さ

平成 10 年度に前年度と比べ開所時間の長さはどう対応したかについての設問である。「長くした」と回答したのは公営 15.9%、民営 29.3%で民営が公営のおよそ 2 倍となっている。長くした理由には、制度上で開所時間が 11 時間と位置づけられていることで長くしたこともあるだろうが、時間延長のニーズに対応した保育所が増加した結果であろう。

「長くした」地域をみると、北信越地区、中国・四国地区、九州地区の公営が 20%台と高い。反対に関東地区と東海地区がそれぞれ 7%台で極めて低率となっている。民営では北海道・東北地区 37.5%、九州地区 34.5%が高率である。所在地区別では公営が県庁所在市 25.9%、小都市と町・村が 18%前後を示している。民営については、やはり県庁所在市が 36.1%、小都市 A33.6%、町・村 31.2%の順になっていて、県庁所在市が公営民営とも頑張っている。

その反面「変わらない」という回答は 76.6%で、公営 82.7%、民営 67.4%と公営の取り組みがなかなか進んでいないことが分かる。地域区別でみると東海地区の公営がとくに低調である。東海地区の公営は 18 時 30 分を超えた保育の実施率は 4.8%と低率で、開所時間の長さも「変わらない」が 90.5%と高く、開所時間への取り組みが進んでいない。関東地区の公営でも 90.3%と高率であり、今後の開所時間への取り組みに期待がもてない状況である。

表90 地域区別 問8-1 平成10年度の通常の保育の開所時間の長さについて、平成9年度と比べてどのようにしましたか

		総計		長くした		変わらない		短くした		未回答	
全国	計	1,382	100.0%	295	21.3%	1,058	76.6%	2	0.1%	27	2.0%
	公 営	823	100.0%	131	15.9%	681	82.7%	1	0.1%	10	1.2%
	民 営	559	100.0%	164	29.3%	377	67.4%	1	0.2%	17	3.0%
北海道・東北地区	計	188	100.0%	50	26.9%	133	71.5%	—	—	3	1.6%
	公 営	106	100.0%	20	18.9%	85	80.2%	—	—	1	0.9%
	民 営	80	100.0%	30	37.5%	48	60.0%	—	—	2	2.5%
関東地区	計	313	100.0%	40	12.8%	263	84.0%	—	—	10	3.2%
	公 営	206	100.0%	16	7.8%	186	90.3%	—	—	4	1.9%
	民 営	107	100.0%	24	22.4%	77	72.0%	—	—	6	5.6%
東海地区	計	178	100.0%	24	13.6%	148	84.1%	—	—	4	2.3%
	公 営	128	100.0%	9	7.1%	114	90.5%	—	—	3	2.4%
	民 営	50	100.0%	15	30.0%	34	68.0%	—	—	1	2.0%
北信越地区	計	169	100.0%	38	22.5%	130	76.9%	1	0.6%	—	—
	公 営	123	100.0%	27	22.0%	95	77.2%	1	0.8%	—	—
	民 営	46	100.0%	11	23.9%	35	76.1%	—	—	—	—
近畿地区	計	165	100.0%	33	20.0%	128	77.6%	1	0.6%	3	1.8%
	公 営	95	100.0%	16	16.8%	77	81.1%	—	—	2	2.1%
	民 営	70	100.0%	17	24.3%	51	72.9%	1	1.4%	1	1.4%
中国・四国地区	計	161	100.0%	41	25.5%	119	73.9%	—	—	1	0.6%
	公 営	97	100.0%	23	23.7%	74	76.3%	—	—	—	—
	民 営	64	100.0%	18	28.1%	45	70.3%	—	—	1	1.6%
九州地区	計	212	100.0%	69	32.5%	137	64.6%	—	—	6	2.8%
	公 営	70	100.0%	20	28.6%	50	71.4%	—	—	—	—
	民 営	142	100.0%	49	34.5%	87	61.3%	—	—	6	4.2%

表91 所在地区別 問8-1 平成10年度の通常の保育の開所時間の長さについて、平成9年度と比べてどのようにしましたか

		総計		長くした		変わらない		短くした		未回答	
総計	計	1,382	100.0%	295	21.3%	1,058	76.6%	2	0.1%	27	2.0%
	公 営	823	100.0%	131	15.9%	681	82.7%	1	0.1%	10	1.2%
	民 営	559	100.0%	164	29.3%	377	67.4%	1	0.2%	17	3.0%
都区部・指定都市	計	182	100.0%	25	13.7%	152	83.5%	—	—	5	2.7%
	公 営	109	100.0%	5	4.6%	101	92.7%	—	—	3	2.8%
	民 営	73	100.0%	20	27.4%	51	69.9%	—	—	2	2.7%
県庁所在市	計	137	100.0%	44	32.1%	90	65.7%	—	—	3	2.2%
	公 営	54	100.0%	14	25.9%	40	74.1%	—	—	—	—
	民 営	83	100.0%	30	36.1%	50	60.2%	—	—	3	3.6%
中都市	計	196	100.0%	30	15.3%	163	83.2%	—	—	3	1.5%
	公 営	102	100.0%	9	8.8%	93	91.2%	—	—	—	—
	民 営	94	100.0%	21	22.3%	70	74.5%	—	—	3	3.2%
小都市A	計	276	100.0%	70	25.4%	200	72.5%	—	—	6	2.2%
	公 営	148	100.0%	27	18.2%	119	80.4%	—	—	2	1.4%
	民 営	128	100.0%	43	33.6%	81	63.3%	—	—	4	3.1%
小都市B	計	129	100.0%	24	18.6%	103	79.8%	—	—	2	1.6%
	公 営	73	100.0%	13	17.8%	60	82.2%	—	—	—	—
	民 営	56	100.0%	11	19.6%	43	76.8%	—	—	2	3.6%
町・村	計	482	100.0%	102	22.1%	350	75.8%	2	0.4%	8	1.7%
	公 営	337	100.0%	63	18.7%	268	79.5%	1	0.3%	5	1.5%
	民 営	125	100.0%	39	31.2%	82	65.6%	1	0.8%	3	2.4%

(ii)開所時間の時間帯

平成10年度の通常の保育の開所時間帯について、平成9年度と比べてどうしたかの設問である。およそ80%は「変わらない」と回答しているが、残りの20%についてみると、「全体的に早くした11.6%」「全体的に遅くした5.3%」となっており、早くした方が多かった。「全体的に早くした」について公営と民営を比較すると、公営7.9%に対して民営が17.2%と10ポイント高い。

地域区分別では、北海道・東北地区と九州地区の民営が開所時間帯を全体的に早くしており、北海道・東北地区26.3%、九州地区21.8%となっている。公営については北信越地区14.6%、九州地区12.9%、北海道・東北地区10.4%が「全体的に早くした」と回答している。一方「変わらない」についてみると、東海地区、関東地区、近畿地区で高い比率を示している、80%以上が開所時間帯の変更をしていないという結果になった。

所在地区分では県庁所在市に特徴がみられる。県庁所在市では公営民営とも「全体的に早くした」が公営13%、民営25.3%で最も高くなっている。同時に「全体的に遅くした」についても公営が高い比率を示している。

(太田嶋)

表92 地域区分別 問8-2 平成10年度の通常の保育の開所時間の時間帯について、平成9年度と比べてどのようにしましたか

		総計		全体的に早くした		変わらない		全体的に遅くした		未回答	
全国	計	1,382	100.0%	161	11.6%	1,099	79.5%	73	5.3%	49	3.5%
	公 営	823	100.0%	65	7.9%	699	84.9%	36	4.4%	23	2.8%
	民 営	559	100.0%	96	17.2%	400	71.6%	37	6.6%	26	4.7%
北海道・東北地区	計	186	100.0%	32	17.2%	141	75.8%	11	5.9%	2	1.1%
	公 営	106	100.0%	11	10.4%	88	83.0%	7	6.6%	—	—
	民 営	80	100.0%	21	26.3%	53	66.3%	4	5.0%	2	2.5%
関東地区	計	313	100.0%	17	5.4%	267	85.3%	14	4.5%	15	4.8%
	公 営	206	100.0%	8	3.9%	185	89.8%	6	2.9%	7	3.4%
	民 営	107	100.0%	9	8.4%	82	76.6%	8	7.5%	8	7.5%
東海地区	計	176	100.0%	12	6.8%	155	88.1%	3	1.7%	6	3.4%
	公 営	126	100.0%	4	3.2%	118	93.7%	1	0.8%	3	2.4%
	民 営	50	100.0%	8	16.0%	37	74.0%	2	4.0%	3	6.0%
北信越地区	計	169	100.0%	24	14.2%	129	76.3%	7	4.1%	9	5.3%
	公 営	123	100.0%	18	14.6%	95	77.2%	4	3.3%	6	4.9%
	民 営	46	100.0%	6	13.0%	34	73.9%	3	6.5%	3	6.5%
近畿地区	計	165	100.0%	16	9.7%	137	83.0%	7	4.2%	5	3.0%
	公 営	95	100.0%	6	6.3%	83	87.4%	3	3.2%	3	3.2%
	民 営	70	100.0%	10	14.3%	54	77.1%	4	5.7%	2	2.9%
中国・四国地区	計	161	100.0%	20	12.4%	126	78.3%	11	6.8%	4	2.5%
	公 営	97	100.0%	9	9.3%	79	81.4%	7	7.2%	2	2.1%
	民 営	64	100.0%	11	17.2%	47	73.4%	4	6.3%	2	3.1%
九州地区	計	212	100.0%	40	18.9%	144	67.9%	20	9.4%	8	3.8%
	公 営	70	100.0%	9	12.9%	51	72.9%	8	11.4%	2	2.9%
	民 営	142	100.0%	31	21.8%	93	65.5%	12	8.5%	6	4.2%

表93 所在地区別 問8-2 平成10年度の通常の保育の開所時間の時間帯について、平成9年度と比べてどのようにしましたか

		総計		全体的に早くした		変わらない		全体的に遅くした		未回答	
総計	計	1,382	100.0%	161	11.6%	1,099	79.5%	73	5.3%	49	3.5%
	公 営	823	100.0%	65	7.9%	699	84.9%	36	4.4%	23	2.8%
	民 営	559	100.0%	96	17.2%	400	71.6%	37	6.6%	26	4.7%
都区部・指定都市	計	182	100.0%	13	7.1%	154	84.6%	9	4.9%	6	3.3%
	公 営	109	100.0%	2	1.8%	100	91.7%	3	2.8%	4	3.7%
	民 営	73	100.0%	11	15.1%	54	74.0%	6	8.2%	2	2.7%
県庁所在市	計	137	100.0%	28	20.4%	87	63.5%	13	9.5%	9	6.6%
	公 営	54	100.0%	7	13.0%	37	68.5%	6	11.1%	4	7.4%
	民 営	83	100.0%	21	25.3%	50	60.2%	7	8.4%	5	6.0%
中都市	計	196	100.0%	18	9.2%	166	84.7%	7	3.6%	5	2.6%
	公 営	102	100.0%	4	3.9%	93	91.2%	4	3.9%	1	1.0%
	民 営	94	100.0%	14	14.9%	73	77.7%	3	3.2%	4	4.3%
小都市A	計	276	100.0%	27	9.8%	216	78.3%	22	8.0%	11	4.0%
	公 営	148	100.0%	11	7.4%	126	85.1%	6	4.1%	5	3.4%
	民 営	128	100.0%	16	12.5%	90	70.3%	16	12.5%	6	4.7%
小都市B	計	129	100.0%	13	10.1%	109	84.5%	3	2.3%	4	3.1%
	公 営	73	100.0%	6	8.2%	65	89.0%	1	1.4%	1	1.4%
	民 営	56	100.0%	7	12.5%	44	78.6%	2	3.6%	3	5.4%
町・村	計	462	100.0%	62	13.4%	367	79.4%	19	4.1%	14	3.0%
	公 営	337	100.0%	35	10.4%	278	82.5%	16	4.7%	8	2.4%
	民 営	125	100.0%	27	21.6%	89	71.2%	3	2.4%	6	4.8%

## (10) 調理の業務委託

### (i) 業務委託の実施状況

問9では、施設内調理室の使用や栄養士の関与等一定の要件を満たした場合には、今年度(平成10年度)から調理の業務委託を実施できることとなったが、こうした調理の業務委託について聞

いたものである。

『問 9-1 あなたの保育所では、調理の業務委託を行っていますか。』として、5項目より五者択一をして頂いている。

1 実施していると答えた保育所は、全国の公営で 3.6%(30 園)、民営で 2.5%(14 園)、全国平均(公営と民営の合計を母数とし、回答園を割った数字)で 3.2%(44 園)という結果であった。

地域区分別で見ると、北海道・東北地区の民営及び九州地区の公営が未実施。東海地区の公営が 11.1%(14 園)でトップ、近畿地区の民営が 8.6%(6 園)である。現状での調理委託は、全体で 700 園台前半であろうか。今後実施予定及び未回答が今後実施予定と仮定しても全体で 3,000 園位である。

2 及び 3 の今年度中(平成 10 年度)に実施予定及び来年度から実施予定は公営及び民営、共に 0%であった。

4 今後実施予定(時期未定)では、全国の公営で 3.2%(26 園)、民営で 3.8%(21 園)、全国平均で 3.4%(47 園)という結果であった。今後実施予定だけをみれば民営の方が節約の意欲があるように見えるが、公営の特性として、周りの模様眺めをする体質であることを考えれば、今の状況下では、公営において業務委託が進む可能性がある。

5 実施するつもりはないでは、全国の公営が 83.4%(686 園)、民営が 91.9%(514 園)、全国平均で 86.8%(1,200 園)という結果であった。これは、安全の問題、アレルギー対策及びバラエティーに富んだ温かい食事を食べさせたいという事の現われであると思われる。

また、近年、不況のためか、栄養士が調理員として保育所に就職してくるケースが見られるようになってきている。

神奈川県でも県立の栄養短大等より平成 9 年度から各保育団体に調理員採用でよいから欠員がでた場合に雇用申込をしてほしいとの要望が出ています。

表 95 は、所在地区別別に集計したものであるから、全国的傾向は、表 94 と同じであるが、県庁所在市では、公営及び民営共に調理委託を実施している保育所は 0%である。また、今後の実施予定でも公営は、0%である。常勤の調理員が多いということであろう。

平成 10 年度・11 年度に実施予定がなくても、12 年度以降に調理の業務委託を予定している保育園が 3.4%(47 園)と未回答園(6.6%)は、全国的な動向をみて判断するとするならば、今後実施予定に組み込んだほうがよさそうである。

現状の調理委託は、人材派遣での調理委託であり、給食センター等で調理したものを食べさせるものではない。自前の調理室は必要なのである。

表94 地域区分別 問9-1 あなたの保育所では、調理の業務委託を行っていますか

		総計		実施している		今年度中に実施予定		来年度から実施予定		今後実施予定		実施するつもりはない		未回答	
全国	計	1,382	100.0%	44	3.2%	—	—	—	—	47	3.4%	1,200	86.8%	91	6.6%
	公営	823	100.0%	30	3.6%	—	—	—	—	26	3.2%	686	83.4%	81	9.8%
	民営	559	100.0%	14	2.5%	—	—	—	—	21	3.8%	514	91.9%	10	1.8%
北海道・東北地区	計	186	100.0%	2	1.1%	—	—	—	—	5	2.7%	171	91.9%	8	4.3%
	公営	106	100.0%	2	1.9%	—	—	—	—	3	2.8%	95	89.6%	6	5.7%
	民営	80	100.0%	—	—	—	—	—	—	2	2.5%	76	95.0%	2	2.5%
関東地区	計	313	100.0%	6	1.9%	—	—	—	—	11	3.5%	269	85.9%	27	8.6%
	公営	208	100.0%	5	2.4%	—	—	—	—	8	3.9%	168	81.6%	25	12.1%
	民営	107	100.0%	1	0.9%	—	—	—	—	3	2.8%	101	94.4%	2	1.9%
東海地区	計	178	100.0%	15	8.5%	—	—	—	—	4	2.3%	143	81.3%	14	8.0%
	公営	126	100.0%	14	11.1%	—	—	—	—	2	1.6%	99	78.6%	11	8.7%
	民営	50	100.0%	1	2.0%	—	—	—	—	2	4.0%	44	88.0%	3	6.0%
北信越地区	計	169	100.0%	3	1.8%	—	—	—	—	4	2.4%	148	87.0%	14	8.3%
	公営	123	100.0%	2	1.6%	—	—	—	—	2	1.6%	105	85.4%	14	11.4%
	民営	46	100.0%	1	2.2%	—	—	—	—	2	4.3%	43	93.5%	—	—
近畿地区	計	165	100.0%	8	4.8%	—	—	—	—	10	6.1%	138	83.6%	9	5.5%
	公営	95	100.0%	2	2.1%	—	—	—	—	4	4.2%	80	84.2%	9	9.5%
	民営	70	100.0%	6	8.6%	—	—	—	—	6	8.6%	58	82.9%	—	—
中国・四国地区	計	161	100.0%	7	4.3%	—	—	—	—	3	1.9%	143	88.8%	8	5.0%
	公営	97	100.0%	5	5.2%	—	—	—	—	1	1.0%	84	86.6%	7	7.2%
	民営	64	100.0%	2	3.1%	—	—	—	—	2	3.1%	59	92.2%	1	1.6%
九州地区	計	212	100.0%	3	1.4%	—	—	—	—	10	4.7%	188	88.7%	11	5.2%
	公営	70	100.0%	—	—	—	—	—	—	6	8.6%	55	78.6%	9	12.9%
	民営	142	100.0%	3	2.1%	—	—	—	—	4	2.8%	133	93.7%	2	1.4%

表95 所在地区別 問9-1 あなたの保育所では、調理の業務委託を行っていますか

		総計		実施している		今年度中に実施予定		来年度から実施予定		今後実施予定		実施するつもりはない		未回答	
総計	計	1,382	100.0%	44	3.2%	—	—	—	—	47	3.4%	1,200	86.8%	91	6.6%
	公営	823	100.0%	30	3.6%	—	—	—	—	26	3.2%	686	83.4%	81	9.8%
	民営	559	100.0%	14	2.5%	—	—	—	—	21	3.8%	514	91.9%	10	1.8%
都区部・指定都市	計	182	100.0%	2	1.1%	—	—	—	—	11	6.0%	150	82.4%	19	10.4%
	公営	109	100.0%	1	0.9%	—	—	—	—	9	8.3%	82	75.2%	17	15.6%
	民営	73	100.0%	1	1.4%	—	—	—	—	2	2.7%	68	93.2%	2	2.7%
県庁所在市	計	137	100.0%	—	—	—	—	—	—	2	1.5%	127	92.7%	8	5.8%
	公営	54	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	47	87.0%	7	13.0%	
	民営	83	100.0%	—	—	—	—	—	—	2	2.4%	80	96.4%	1	1.2%
中都市	計	196	100.0%	14	7.1%	—	—	—	—	11	5.6%	162	82.7%	9	4.6%
	公営	102	100.0%	9	8.8%	—	—	—	—	3	2.9%	81	79.4%	9	8.8%
	民営	94	100.0%	5	5.3%	—	—	—	—	8	8.5%	81	86.2%	—	—
小都市A	計	276	100.0%	10	3.6%	—	—	—	—	7	2.5%	239	86.6%	20	7.2%
	公営	148	100.0%	5	3.4%	—	—	—	—	2	1.4%	125	84.5%	16	10.8%
	民営	128	100.0%	5	3.9%	—	—	—	—	5	3.9%	114	89.1%	4	3.1%
小都市B	計	129	100.0%	3	2.3%	—	—	—	—	2	1.6%	118	91.5%	6	4.7%
	公営	73	100.0%	2	2.7%	—	—	—	—	1	1.4%	65	89.0%	5	6.8%
	民営	56	100.0%	1	1.8%	—	—	—	—	1	1.8%	53	94.6%	1	1.8%
町・村	計	462	100.0%	15	3.2%	—	—	—	—	14	3.0%	404	87.4%	29	6.3%
	公営	337	100.0%	13	3.9%	—	—	—	—	11	3.3%	286	84.9%	27	8.0%
	民営	125	100.0%	2	1.6%	—	—	—	—	3	2.4%	118	94.4%	2	1.6%

(ii) 栄養士の関与

問9-2は、調理の業務委託をしている保育所に対して、どのように栄養士を関与させているかを聞いたものである。複数回答されている。表96は地域区分別に集計したものである。

1自分の保育所の栄養士を活用では、全国の公営で6.7%(2園)、民営で42.9%(6園)、全国平均で18.2%(8園)という結果であった。公営及び民営共に栄養士が配置されていない地区は、東海地区及び北信越地区である。また、公営で栄養士が配置されていない地区は、北海道・東北地区及び

近畿地区である。

2 複数の保育所で栄養士を活用している地区は、公営のみの地区が北海道・東北地区（50%・1園）及び東海地区（7.1%・1園）のみで、その他の地区は、公営及び民営でも活用されているとの回答が0%になっている。

3 保健所の栄養士との連携では、公営が北海道・東北地区（50%・1園）のみ、民営が近畿地区（16.7%・1園）及び九州地区（33.3%・1園）のみである。

4 市町村の栄養士との連携では、公営・民営共に連携している地区は、北信越地区で100%（公営2園・民営1園）、近畿地区で50%（公営1園・民営3園）、中国・四国地区で平均が71.4%（5園）、公営が60%（3園）、民営が100%（2園）である。公営のみが北海道・東北地区（50%・1園）、関東地区（80%・4園）及び東海地区（85.7%・12園）である。また、民営のみが、九州地区（33.3%・1園）である。

5 地域の栄養士会との連携では、東海地区の民営（100%・1園）のみである。

6 その他の回答は、公営のみで東海地区（14.2%・2園）、近畿地区（50%・1園）及び中国・四国地区（20%・1園）である。

栄養士の配置の難しい民営では、やはり、市町村の栄養士との連携がやりやすいようである。

表97の所在地区別で見ると、1自分の保育所の栄養士を活用では、都区部・指定都市の大都市では、公営・民営ともに活用が100%、県庁所在市、小都市B及び町・村では、公営・民営ともに活用が0%、中都市では、公営が11.1%（1園）、民営が40%（2園）、小都市Aでは、公営が0%、民営が60%である。

2 複数の保育所で栄養士を活用では、町・村の公営のみで15.4%（2園）である。この2園は、4の市町村の栄養士と連携にいたの方が良いのかもしれない。

私の所属する市では、公営4園と民営11園中9園が市の児童福祉課に所属する栄養士と連携しているからである。

3 保健所の栄養士を活用では、中都市の民営で20%（1園）、町・村の公営で7.7%（1園）、民営で50%（1園）である。

4 市町村の栄養士と連携では、中都市の公営で88.9%（8園）、民営で60%（3園）、小都市Aの公営で80%（4園）、民営で60%（3園）、小都市Bの公営では100%（2園）、民営は0%、町・村の公営で69.2%（9園）、民営で50%（1園）である。

私の保育園は市の栄養士との連携である。市の栄養士は、はしりの果物を使いたがるので、安い旬の果物等に変更している。

5 地域の栄養士との連携では、小都市Bの民営のみで100%（1園）である。地域の栄養士とは、市社会福祉協議会等に勤務している栄養士であろうか。

6 その他では、小都市Aの公営で20%（1園）、町・村の公営で23.1%（3園）である。

良いか悪いかは別として、公営・民営を問わず、予算上等の問題から、業務委託に踏み切ることが考えられる。その場合には、アレルギー対策等も契約の中に盛り込む必要がある。

表96 地域区分別 問9-2 調理の業務委託に際して、どのように栄養士を関与させていますか

		総計		自分の保育所の 栄養士を活用		複数の保育所で 栄養士を活用		保健所の栄養士 と連携		市町村の栄養士 と連携		地域の栄養士会 と連携		その他	
全国	計	44	100.0%	8	18.2%	2	4.5%	3	6.8%	30	68.2%	1	2.3%	4	9.1%
	公 営	30	100.0%	2	6.7%	2	6.7%	1	3.3%	23	76.7%	—	—	4	13.3%
	民 営	14	100.0%	6	42.9%	—	—	2	14.3%	7	50.0%	1	7.1%	—	—
北海道・ 東北地区	計	2	100.0%	—	—	1	50.0%	1	50.0%	1	50.0%	—	—	—	—
	公 営	2	100.0%	—	—	1	50.0%	1	50.0%	1	50.0%	—	—	—	—
	民 営	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関東地区	計	6	100.0%	2	33.3%	—	—	—	—	4	66.7%	—	—	—	—
	公 営	5	100.0%	1	20.0%	—	—	—	—	4	80.0%	—	—	—	—
	民 営	1	100.0%	1	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東海地区	計	15	100.0%	—	—	1	6.7%	—	—	12	80.0%	1	6.7%	2	13.3%
	公 営	14	100.0%	—	—	1	7.1%	—	—	12	85.7%	—	—	2	14.3%
	民 営	1	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	1	100.0%	—	—
北信越 地区	計	3	100.0%	—	—	—	—	—	—	3	100.0%	—	—	—	—
	公 営	2	100.0%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%	—	—	—	—
	民 営	1	100.0%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%	—	—	—	—
近畿地区	計	8	100.0%	3	37.5%	—	—	1	12.5%	4	50.0%	—	—	1	12.5%
	公 営	2	100.0%	—	—	—	—	—	—	1	50.0%	—	—	1	50.0%
	民 営	6	100.0%	3	50.0%	—	—	1	16.7%	3	50.0%	—	—	—	—
中国・ 四国地区	計	7	100.0%	2	28.6%	—	—	—	—	5	71.4%	—	—	1	14.3%
	公 営	5	100.0%	1	20.0%	—	—	—	—	3	60.0%	—	—	1	20.0%
	民 営	2	100.0%	1	50.0%	—	—	—	—	2	100.0%	—	—	—	—
九州地区	計	3	100.0%	1	33.3%	—	—	1	33.3%	1	33.3%	—	—	—	—
	公 営	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	民 営	3	100.0%	1	33.3%	—	—	1	33.3%	1	33.3%	—	—	—	—

表97 所在地区別 問9-2 調理の業務委託に際して、どのように栄養士を関与させていますか

		総計		自分の保育所の 栄養士を活用		複数の保育所で 栄養士を活用		保健所の栄養士 と連携		市町村の栄養士 と連携		地域の栄養士会 と連携		その他	
総計	計	44	100.0%	8	18.2%	2	4.5%	3	6.8%	30	68.2%	1	2.3%	4	9.1%
	公 営	30	100.0%	2	6.7%	2	6.7%	1	3.3%	23	76.7%	—	—	4	13.3%
	民 営	14	100.0%	6	42.9%	—	—	2	14.3%	7	50.0%	1	7.1%	—	—
都区部・ 指定都市	計	2	100.0%	2	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	公 営	1	100.0%	1	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	民 営	1	100.0%	1	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
県庁所在 市	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	公 営	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	民 営	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中都市	計	14	100.0%	3	21.4%	—	—	1	7.1%	11	78.6%	—	—	—	—
	公 営	9	100.0%	1	11.1%	—	—	—	—	8	88.9%	—	—	—	—
	民 営	5	100.0%	2	40.0%	—	—	1	20.0%	3	60.0%	—	—	—	—
小都市A	計	10	100.0%	3	30.0%	—	—	—	—	7	70.0%	—	—	1	10.0%
	公 営	5	100.0%	—	—	—	—	—	—	4	80.0%	—	—	1	20.0%
	民 営	5	100.0%	3	60.0%	—	—	—	—	3	60.0%	—	—	—	—
小都市B	計	3	100.0%	—	—	—	—	—	—	2	66.7%	1	33.3%	—	—
	公 営	2	100.0%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%	—	—	—	—
	民 営	1	100.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	1	100.0%	—	—
町・村	計	15	100.0%	—	—	2	13.3%	2	13.3%	10	66.7%	—	—	3	20.0%
	公 営	13	100.0%	—	—	2	15.4%	1	7.7%	9	69.2%	—	—	3	23.1%
	民 営	2	100.0%	—	—	—	—	1	50.0%	1	50.0%	—	—	—	—

(11) 保母数

問 10 では、平成 9 年 4 月 1 日現在と平成 10 年 4 月 1 日現在の保育所の保母数を聞いている。この集計方法として、常勤保母数及び短時間勤務保母数の地域区分別と所在地区別、常勤保母数と短時間勤務保母数の合計の地域区分別と所在地区別で 6 種類 12 表 A に集計したものである。

平成 9 年 4 月 1 日現在と平成 10 年 4 月 1 日現在の常勤保母数の増減を比較してみると、全国の計及び民営では、0～5 人及び 6～10 人で平成 10 年 4 月 1 日現在の方が減少し、11 人以上で逆に増加している。公営では、0～5 人では、減少し、6 人以上で増加している。同じく、短時間勤務保母数では、全国の計、公営及び民営の全てで平成 10 年 4 月 1 日現在の方が増加を示している。

常勤保母数と短時間勤務保母数の合計で見ると、全国の計、公営及び民営ともに、0～5 人及び 6～10 人で平成 10 年 4 月 1 日現在の方が減少し、11 人以上で逆に増加している。

平成 10 年 4 月 1 日現在の常勤保母数と短時間勤務保母数は、平成 9 年 4 月 1 日現在の常勤保母数及び短時間勤務保母数と地域区分別及び所在地区別ともに同じ様な傾向にあり、職員人数も増加している。

常勤保母の増加分の大部分は、アンケートの常勤保母条件から考えると 1 年契約の保母であろう。子どもの人数と職員配置の国基準からすれば、パート職員が職員数の調整弁の役割をしていることになるが仕方のないことである。

私の保育所でも、平成 10 年度限りで 3 名の契約職員の継続契約が出来なかった。子どもの年齢増による職員数の減少に依るものであった。国の基準職員定員で見ると、4 月のスタート時で 7 名で定員(園児)60 名。3 月末日で 9 名、園児 72 名。平成 11 年 4 月スタートで職員定員は 6 名。

保育所の場合は、株式会社等の製造業と比べて、パート雇用では 20 年以上遅れているであろう。幼稚園と比較しても 3～5 年程度の遅れがある。したものである。

神奈川のある短大の平成 10 年度卒業生の就職実態は、ほとんどがパート採用とのことであった。

国の基準緩和により、国定員の 20%までパート等の採用が可能だが、更に緩和されれば、良い悪いは別にして、コストダウンと職員増の有力手段となるかもしれない。

(小島)



表A 保母数

	総計		0~5人		6~10人		11~15人		16~20人		21人以上		未回答		備考
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
H.09.4.1 常勤公営	823	100	235	28.6	321	39.0	163	19.8	73	8.9	21	2.6	10	1.2	地域区分別常勤保母数
H.10.4.1 常勤公営	823	100	226	27.5	313	38.0	175	21.3	79	9.6	25	3.0	5	0.6	
H.09.4.1 常勤民営	559	100	53	9.5	229	41.0	165	29.5	66	8.9	39	7.0	7	1.3	
H.10.4.1 常勤民営	559	100	44	7.9	225	40.3	167	29.9	74	13.2	44	7.9	5	0.9	
H.09.4.1 常勤合計	1,382	100	288	20.8	550	39.8	328	23.7	139	10.1	60	4.3	17	1.2	
H.10.4.1 常勤合計	1,382	100	270	19.5	538	38.9	342	24.7	153	11.1	69	5.0	5	0.6	
H.09.4.1 短時間公営	823	100	509	61.8	62	7.5	14	1.7	2	0.2	1	0.1	235	28.6	地域区分別短時間勤務保母数
H.10.4.1 短時間公営	823	100	512	62.2	66	8.0	16	1.9	2	0.2	2	0.2	225	27.3	
H.09.4.1 短時間民営	559	100	411	73.5	19	7.5	1	0.2			1	0.2	127	22.7	
H.10.4.1 短時間民営	559	100	422	75.5	23	4.1	3	0.5			1	0.2	110	19.7	
H.09.4.1 短時間合計	1,382	100	920	66.6	81	5.9	15	1.1	2	0.1	1	0.1	362	26.2	
H.10.4.1 短時間合計	1,382	100	934	67.6	89	6.4	19	1.4	2	0.1	3	0.2	335	24.2	

表98 地域区分別 問10 平成9年4月1日 常勤保母数

	計	総計		0~5人		6~10人		11~15人		16~20人		21人以上		未回答	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
全国	計	1,382	100.0%	288	20.8%	550	39.8%	328	23.7%	139	10.1%	60	4.3%	17	1.2%
	公営	823	100.0%	235	28.6%	321	39.0%	163	19.8%	73	8.9%	21	2.6%	10	1.2%
	民営	559	100.0%	53	9.5%	229	41.0%	165	29.5%	66	11.8%	39	7.0%	7	1.3%
北海道・東北地区	計	186	100.0%	48	25.8%	88	47.3%	37	19.9%	9	4.0%	—	—	4	2.2%
	公営	106	100.0%	36	34.0%	50	47.2%	14	13.2%	4	3.8%	—	—	2	1.9%
	民営	80	100.0%	12	15.0%	38	47.5%	23	28.8%	5	6.2%	—	—	2	2.5%
関東地区	計	313	100.0%	32	10.2%	94	30.0%	102	32.6%	63	20.1%	15	4.8%	7	2.2%
	公営	206	100.0%	27	13.1%	63	30.6%	62	30.1%	42	20.4%	7	3.4%	5	2.4%
	民営	107	100.0%	5	4.7%	31	29.0%	40	37.4%	21	19.6%	8	7.5%	2	1.9%
東海地区	計	178	100.0%	40	22.7%	70	39.0%	41	23.3%	12	6.8%	11	6.3%	2	1.1%
	公営	126	100.0%	36	28.6%	51	40.5%	28	22.2%	6	4.8%	4	3.2%	1	0.8%
	民営	50	100.0%	4	8.0%	19	38.0%	13	26.0%	6	12.0%	7	14.0%	1	2.0%
北信越地区	計	189	100.0%	61	38.1%	69	40.8%	27	16.0%	6	3.8%	6	3.8%	—	—
	公営	123	100.0%	59	48.0%	47	38.2%	14	11.4%	1	0.8%	2	1.6%	—	—
	民営	46	100.0%	2	4.3%	22	47.8%	13	28.3%	5	10.9%	4	8.7%	—	—
近畿地区	計	165	100.0%	24	14.5%	63	38.2%	36	23.0%	22	13.3%	17	10.3%	1	0.6%
	公営	95	100.0%	20	21.1%	37	38.9%	19	20.0%	12	12.6%	7	7.4%	—	—
	民営	70	100.0%	4	5.7%	26	37.1%	19	27.1%	10	14.3%	10	14.3%	1	1.4%
中国・四国地区	計	161	100.0%	39	24.2%	69	36.6%	42	26.1%	15	9.3%	4	2.5%	2	1.2%
	公営	97	100.0%	29	29.9%	40	41.2%	21	21.6%	5	5.2%	—	—	2	2.1%
	民営	64	100.0%	10	15.6%	19	29.7%	21	32.8%	10	15.6%	4	6.3%	—	—
九州地区	計	212	100.0%	44	20.8%	107	50.5%	41	19.3%	12	5.7%	7	3.3%	1	0.5%
	公営	70	100.0%	28	40.0%	33	47.1%	5	7.1%	3	4.3%	1	1.4%	—	—
	民営	142	100.0%	16	11.3%	74	52.1%	36	25.4%	9	6.3%	6	4.2%	1	0.7%

表104 地域区分別 問10 平成10年4月1日 常勤保母数

		総計		0~5人		6~10人		11~15人		16~20人		21人以上		未回答	
全国	計	1,382	100.0%	270	19.5%	538	38.9%	342	24.7%	153	11.1%	69	5.0%	10	0.7%
	公営	823	100.0%	226	27.5%	313	38.0%	175	21.3%	79	9.6%	25	3.0%	5	0.6%
	民営	569	100.0%	44	7.9%	225	40.3%	167	29.9%	74	13.2%	44	7.9%	5	0.9%
北海道・東北地区	計	186	100.0%	42	22.6%	97	46.8%	45	24.2%	9	4.8%	2	1.1%	1	0.5%
	公営	106	100.0%	32	30.2%	50	47.2%	19	17.9%	5	4.7%	—	—	—	—
	民営	80	100.0%	10	12.5%	37	46.3%	26	32.5%	4	5.0%	2	2.5%	1	1.3%
関東地区	計	313	100.0%	32	10.2%	91	29.1%	102	32.6%	68	21.7%	18	5.8%	4	1.3%
	公営	206	100.0%	28	13.6%	58	28.2%	64	31.1%	44	21.4%	9	4.4%	3	1.5%
	民営	107	100.0%	4	3.7%	33	30.8%	38	35.5%	22	20.6%	9	8.4%	1	0.9%
東海地区	計	176	100.0%	35	19.9%	71	40.3%	40	22.7%	17	9.7%	11	6.3%	2	1.1%
	公営	126	100.0%	32	25.4%	53	42.1%	27	21.4%	9	7.1%	4	3.2%	1	0.8%
	民営	50	100.0%	3	6.0%	18	36.0%	13	26.0%	8	16.0%	7	14.0%	1	2.0%
北信越地区	計	169	100.0%	60	35.5%	67	39.6%	29	17.2%	5	3.0%	8	4.7%	—	—
	公営	123	100.0%	59	48.0%	46	37.4%	13	10.6%	3	2.4%	2	1.6%	—	—
	民営	46	100.0%	1	2.2%	21	45.7%	16	34.8%	2	4.3%	6	13.0%	—	—
近畿地区	計	165	100.0%	23	13.9%	60	36.4%	43	26.1%	20	12.1%	18	10.9%	1	0.6%
	公営	95	100.0%	19	20.0%	34	35.8%	24	25.3%	9	9.5%	9	9.5%	—	—
	民営	70	100.0%	4	5.7%	26	37.1%	19	27.1%	11	15.7%	9	12.9%	1	1.4%
中国・四国地区	計	161	100.0%	40	24.8%	54	33.5%	43	26.7%	18	11.2%	5	3.1%	1	0.6%
	公営	97	100.0%	31	32.0%	38	39.2%	21	21.6%	6	6.2%	—	—	1	1.0%
	民営	64	100.0%	9	14.1%	16	25.0%	22	34.4%	12	18.8%	5	7.8%	—	—
九州地区	計	212	100.0%	38	17.9%	108	50.9%	40	18.9%	18	8.5%	7	3.3%	1	0.5%
	公営	70	100.0%	25	35.7%	34	48.6%	7	10.0%	3	4.3%	1	1.4%	—	—
	民営	142	100.0%	13	9.2%	74	52.1%	33	23.2%	15	10.6%	6	4.2%	1	0.7%

表101 所在地区別 問10 平成9年4月1日 短時間勤務保母数

		総計		0~5人		6~10人		11~15人		16~20人		21人以上		未回答	
総計	計	1,382	100.0%	920	66.6%	81	5.9%	15	1.1%	2	0.1%	2	0.1%	362	26.2%
	公営	823	100.0%	509	61.8%	82	7.5%	14	1.7%	2	0.2%	1	0.1%	235	28.6%
	民営	559	100.0%	411	73.5%	19	3.4%	1	0.2%	—	—	1	0.2%	127	22.7%
都区部・指定都市	計	182	100.0%	112	61.5%	26	14.3%	7	3.8%	1	0.5%	1	0.5%	35	19.2%
	公営	109	100.0%	66	60.6%	20	18.3%	6	5.5%	1	0.9%	—	—	16	14.7%
	民営	73	100.0%	46	63.0%	6	8.2%	1	1.4%	—	—	1	1.4%	19	26.0%
県庁所在市	計	137	100.0%	110	80.3%	—	—	—	—	—	—	—	—	27	19.7%
	公営	54	100.0%	44	81.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	10	18.5%
	民営	83	100.0%	66	79.5%	—	—	—	—	—	—	—	—	17	20.5%
中都市	計	196	100.0%	130	66.3%	24	12.2%	4	2.0%	—	—	1	0.5%	37	18.9%
	公営	102	100.0%	64	62.7%	18	17.6%	4	3.9%	—	—	1	1.0%	15	14.7%
	民営	94	100.0%	66	70.2%	6	6.4%	—	—	—	—	—	—	22	23.4%
小都市A	計	278	100.0%	187	67.3%	22	8.0%	3	1.1%	1	0.4%	—	—	63	22.8%
	公営	148	100.0%	99	66.9%	17	11.5%	3	2.0%	1	0.7%	—	—	38	25.7%
	民営	128	100.0%	88	68.7%	5	3.9%	—	—	—	—	—	—	25	19.5%
小都市B	計	129	100.0%	95	73.6%	—	—	1	0.8%	—	—	—	—	33	25.6%
	公営	73	100.0%	49	67.1%	—	—	1	1.4%	—	—	—	—	23	31.5%
	民営	56	100.0%	46	82.1%	—	—	—	—	—	—	—	—	10	17.9%
町・村	計	462	100.0%	286	61.9%	9	1.9%	—	—	—	—	—	—	167	36.1%
	公営	337	100.0%	197	58.5%	7	2.1%	—	—	—	—	—	—	133	39.5%
	民営	125	100.0%	89	71.2%	2	1.6%	—	—	—	—	—	—	34	27.2%

表107 所在地区別 問10 平成10年4月1日 短時間勤務保母数

		総計		0~5人		6~10人		11~15人		16~20人		21人以上		未回答	
総計	計	1,382	100.0%	934	67.6%	89	6.4%	19	1.4%	2	0.1%	3	0.2%	335	24.2%
	公営	823	100.0%	512	62.2%	66	8.0%	16	1.9%	2	0.2%	2	0.2%	225	27.3%
	民営	559	100.0%	422	75.5%	23	4.1%	3	0.5%	—	—	1	0.2%	110	19.7%
都区部・指定都市	計	182	100.0%	117	64.3%	29	15.9%	7	3.8%	1	0.5%	1	0.5%	27	14.8%
	公営	109	100.0%	68	62.4%	21	19.3%	6	5.5%	1	0.9%	—	—	13	11.9%
	民営	73	100.0%	49	67.1%	8	11.0%	1	1.4%	—	—	1	1.4%	14	19.2%
県庁所在市	計	137	100.0%	114	83.2%	2	1.5%	—	—	—	—	—	—	21	15.3%
	公営	54	100.0%	43	79.6%	1	1.9%	—	—	—	—	—	—	10	18.5%
	民営	83	100.0%	71	85.5%	1	1.2%	—	—	—	—	—	—	11	13.3%
中都市	計	196	100.0%	132	67.3%	20	10.2%	7	3.6%	1	0.5%	1	0.5%	35	17.9%
	公営	102	100.0%	66	64.7%	15	14.7%	5	4.9%	1	1.0%	1	1.0%	14	13.7%
	民営	94	100.0%	66	70.2%	5	5.3%	2	2.1%	—	—	—	—	21	22.3%
小都市A	計	276	100.0%	188	68.1%	27	9.8%	4	1.4%	—	—	1	0.4%	56	20.3%
	公営	148	100.0%	90	60.8%	21	14.2%	4	2.7%	—	—	1	0.7%	32	21.6%
	民営	128	100.0%	98	76.6%	6	4.7%	—	—	—	—	—	—	24	18.8%
小都市B	計	129	100.0%	97	75.2%	1	0.8%	1	0.8%	—	—	—	—	30	23.3%
	公営	73	100.0%	49	67.1%	1	1.4%	1	1.4%	—	—	—	—	22	30.1%
	民営	56	100.0%	48	85.7%	—	—	—	—	—	—	—	—	8	14.3%
町・村	計	462	100.0%	286	61.9%	10	2.2%	—	—	—	—	—	—	166	35.9%
	公営	337	100.0%	196	58.2%	7	2.1%	—	—	—	—	—	—	134	39.8%
	民営	125	100.0%	90	72.0%	3	2.4%	—	—	—	—	—	—	32	25.6%